



国立大学リスクマネジメント情報

2009(平成21)年11月号

<http://www.janu-s.co.jp/>

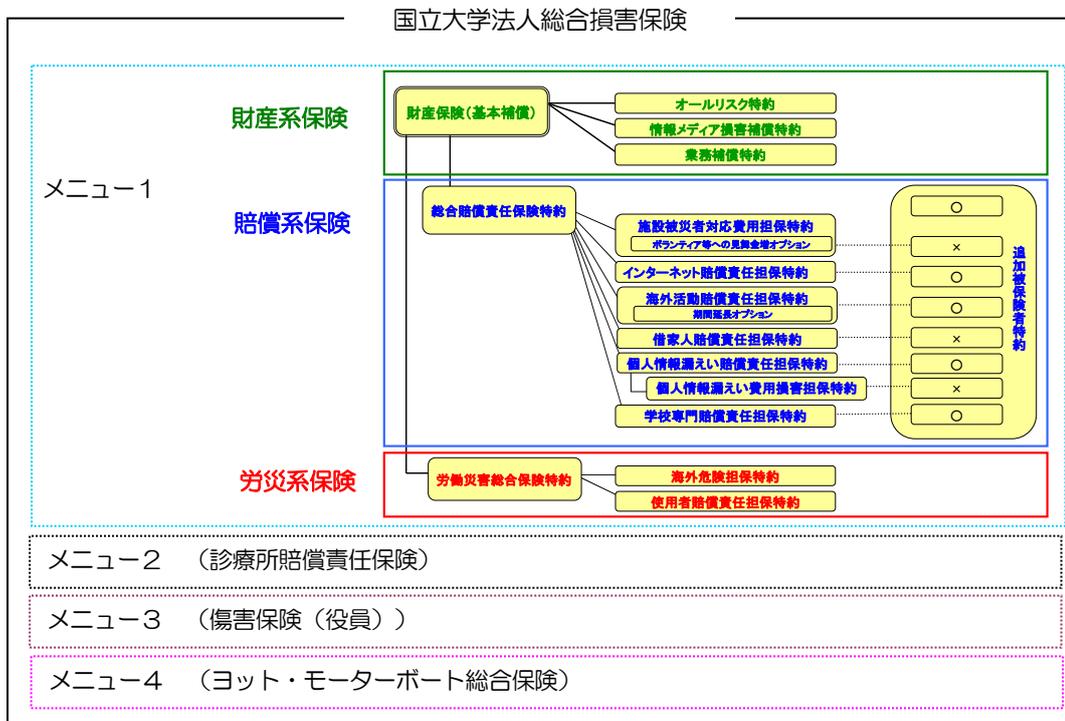
特集テーマ

国大協保険の保険金支払状況

国大協保険は、国立大学法人と大学共同利用機関法人の全てが加入する団体保険であり、その保険金支払状況はリスクマネジメントの上で貴重な情報となります。
平成16年度から20年度に発生した事故の平成21年9月30日までの保険金支払状況を取りまとめましたので、本号ではその概要を特集として掲載します。

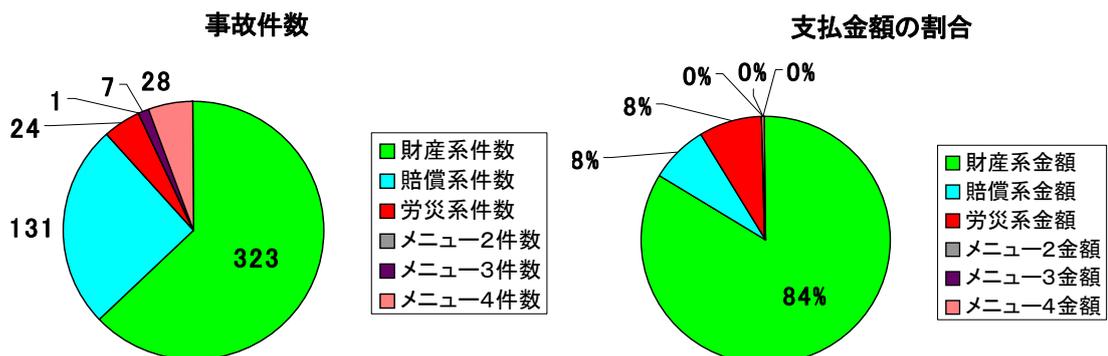
1. 保険種目による支払状況

国大協保険は、メニュー1から4まで4つの保険契約から成っています。そして、メニュー1は財産系保険、賠償系保険、労災系保険に大きく分けることができます。



保険種目ごとの状況は以下のとおりです。

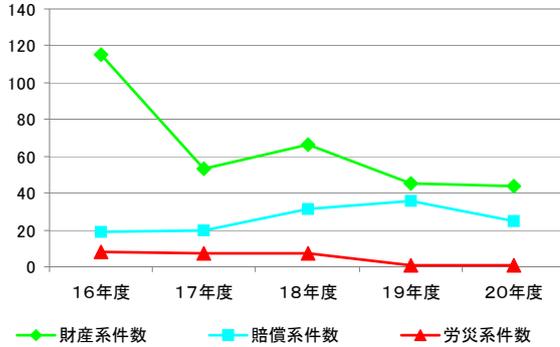
件数では、財産系保険、賠償系保険、労災系保険の順で少なくなります。金額では、財産系保険が8割以上を占め、続いて賠償系保険と労災系保険がほぼ同じ割合となります。





2. 年度による支払状況

年度による件数の推移を見ると、財産系保険の支払件数はその年の気象状況により大きく変動し、賠償系、労災系では変動が少ない傾向が見られます。平成16年度は台風被害が多発した年でした。



賠償系では、平成17、18年度の特約新設、19年度の免責金額引上げが増加傾向の要因と考えられます。

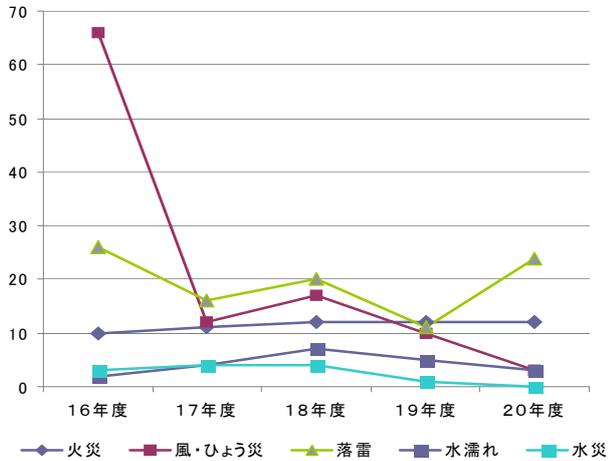
20年度については、未決の事故があるため今後の支払件数は増加するものと予想されます。

労災系事故は、平成16～18年度に各年度7件又は8件発生していたものが、19、20年度は各1件となっており、今後の傾向を見守る必要があります。

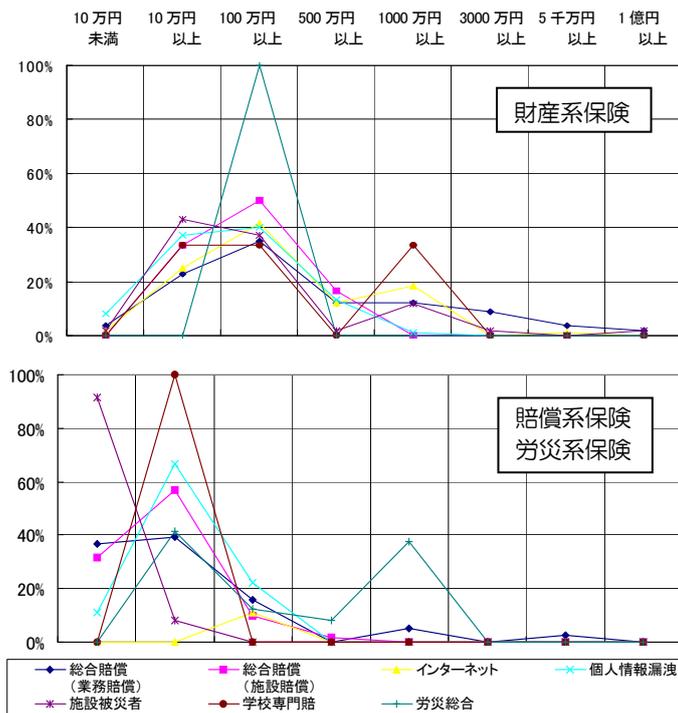
財産系保険の主な原因別支払件数の年度推移を見ると「火災」「水濡れ」は変動が見られず、「風・ひょう災」「落雷」の変動が激しいことが分かります。

昨年は、ゲリラ豪雨とともに発生した雷により多くの被害が発生したものと考えられます。

台風や豪雨により起こると考えられる「水災」ですが、実際の保険金支払事故としては連動は見られないようです。



3. 保険金支払金額



保険金の支払金額をみると、左上のグラフ（財産系保険）では、10万円から500万円にピークがあります。

一方、左下グラフ「総合賠償」「インターネット」「個人情報漏洩」「施設被災者」の賠償系保険では100万円未満の支払がほとんどとなります。

左下グラフの労災総合保険では、死亡災害による法定外補償金額である1,860万円にピークがあります。

高額支払事故を見ると、財産系保険では、1億円以上の支払が、火災：1件（2%）、オールリスク（水濡れ）1件（2%）となっています。

賠償系保険では、5千万円以上1億円未満の支払が、総合賠償（業務賠償）：1件（3%）となっています。



4. 主な高額保険金支払い事故

(単位：千円)

年度	事故内容	事故原因	保険金支払額
平成17年度	超磁波発生装置より出火、装置損傷。	火災	63,622
18年度	作業ハウスから出火、脱穀調整場、肥育牛舎、収納庫が全焼。	火災	163,065
18年度	学部A棟5階で出火。	火災	45,433
18年度	実験棟2Fにて配線接合部の過熱により火災発生。	火災	36,541
19年度	研究棟実験室より出火。	火災	35,360
19年度	果実貯蔵建物が全焼。	火災	31,723
19年度	小火により建物・機器類を焼失。	火災	31,419
20年度	工学部実験棟で火災。	火災	59,427
16年度	台風18号による構内・植物園の建物等の損壊。	風・ひょう	52,729
16年度	台風による構内建物等の損壊。	風・ひょう	22,014
16年度	台風による構内・附属学校等の建物損壊。	風・ひょう	21,554
18年度	台風13号により被害。	風・ひょう	28,961
18年度	台風13号による観測施設の被害。	風・ひょう	26,819
17年度	落雷により建物設備、備品損傷。	落雷	11,839
19年度	ガラスを破って入られ施設内備品を盗難。	盗難	11,363
16年度	病院3階天井裏に設置の冷温水管が破裂。温水が漏出し3階～1階までの水濡れ損害	給排水事故	109,652
17年度	病院の給湯配管の弁が突然はずれ大量の湯が漏水。照明および治療用の椅子が濡れ損。	給排水事故	13,343
19年度	臨床研究棟9階機械室配管から漏水し6階のガスクロマト室の実験機器が破損。	給排水事故	15,754
19年度	漏水による損害。	給排水事故	15,045
19年度	コンピューターウイルスの侵入により全システムがダウン。	システム不正	16,006
16年度	落雷による機械設備類の損傷、豪雨による什器・建物の水害。	水災	34,931
17年度	集中豪雨による水災。	水災	12,769
16年度	授業中に使用していたレーザー装置が学生の目に当たり受傷。	業務賠償	18,670
19年度	野外での正課活動中に学生が死亡。	業務賠償	66,838
19年度	学生が実習中に粉碎機に右手を巻き込まれ後遺障害が発生。	業務賠償	25,114

※ 「平成16～20年度国立大学法人総合損害保険保険金支払状況」については、11月24日、各機関の国大協保険ご担当者に弊社から配信しておりますので、ご参照ください。



「国立大学リスクマネジメント情報」 創刊1周年記念シンポジウム

日時 平成21年12月14日(月)午後1時(受付12:30)～午後5時
会場 学術総合センター—橋記念講堂(東京都千代田区—ツ橋2-1-2)

テーマ「国立大学リスクマネジメントの現状と課題」

<特別講演> 社団法人国立大学協会専務理事 野上智行
(前神戸大学長)

<第1部> 基調講演 「国立大学のリスクマネジメント」
(株)インターリスク総研主席研究員 小林 誠
(立命館大学経営管理研究科客員教授)

<第2部> パネルディスカッション
「危機管理、リスクマネジメントの現状と課題」

パネリスト:

山形大学総務ユニット長 永田昭浩

東京大学環境安全本部副本部長/特任教授 小山富士雄

富山大学理事/副学長 古田俊吉

神戸大学総務部課長(危機管理等担当) 西谷龍三

香川大学総務グループリーダー 阿部 勝

コーディネーター: 三井住友海上火災保険(株)
金融公務営業推進本部部長 高田信孝

主催 有限会社国大協サービス

後援 社団法人国立大学協会

《参加無料》

(お問合せ・お申込)

Eメール: info@janu-s.co.jp

電話: 050-3533-8794

国大協サービス



国大協保険の基礎知識 (11)

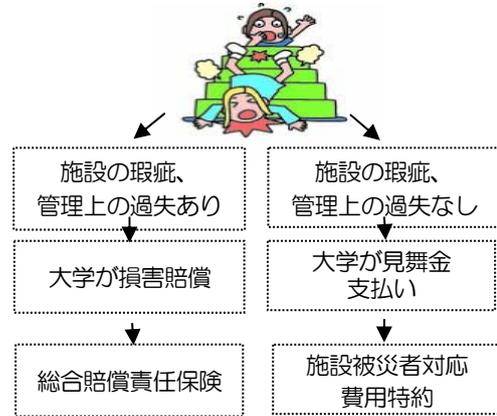
施設被災者対応費用特約

大学施設内で来訪者が偶然の事故にあった場合、大学が支払った見舞金に対して保険金をお支払いするのがメニュー1 施設被災者対応費用特約です。

大学の施設等の瑕疵や管理上の過失による事故の場合には大学に賠償責任が発生し、メニュー1 総合賠償責任保険で対応することになります。

対象となる外来者から以下の者は除かれます。

- ① 業務中の教職員
- ② 当該大学（附属学校含む）の学生・生徒等教育研究指導を受けている者
- ③ 対象施設の保守、保安、点検、警備、消防、清掃等の業務に従事中的者
- ④ 新築、改修等の工事に従事中的者



支払われる保険金は、	死亡見舞費用保険金	50万円	
	後遺障害見舞費用保険金	50万円～1万5千円	
	入院見舞費用保険金	10万円～2万円	
	通院見舞費用保険金	5万円～1万円	となっています。

なお、当該大学の無給の講師・研究員、大学が主催する行事や活動に参加するボランティアについては、死亡見舞費用保険金と後遺障害見舞費用保険金最高額を200万円に増額するオプションをつけることができます。

09/9月・10月

大学リスクマネジメント News PickUp

<大学の管理・経営>

- ◆ 9.10 ○大構内で女子学生に乱暴しようとした疑いで県職員が逮捕。その後、別の同大女子学生への乱暴容疑で再逮捕。
- ◆ 9.17 ○大は、安全対策を怠り基準値を超えるダイオキシン類を排出させたとして講師を停職6か月の処分。
- ◆ 9.18 ○大労組が教職員の夏のボーナス削減について合理的説明や労働条件改善措置がないとして県労働委員会にあっせん申し立て。
- ◆ 9.25 遺伝子組み換え大腸菌などを違法に廃棄したとして停職6か月の懲戒処分を受けた教授が処分無効確認の訴えを地裁に行ったことが報道。
- ◆ 10.1 ○市立△小学校の生徒が自殺したのは担任教諭の体罰が原因として両親が約8100万円の損害賠償を求めた訴訟で、地裁支部は自殺の直接的原因となったと因果関係を認め、同人の心因的要因も認め880万円の支払を命令。
- ◆ 10.8 ○大△センターと同大学生後援会が販売する「○大学アイスクリーム」から大腸菌が検出。
- ◆ 10.16 ○大の大学院生で医師の男性が附属病院で徹夜勤務をした直後に交通事故死したのは睡眠不足や過労によるものとして両親が大学に損害賠償を求めた訴訟で、地裁は大学に約2千万円の支払を命令。同大は控訴せず。
- ◆ 10.29 ○大の夜間警備を委託された会社が2人一組とした契約に違反して警備員1人しか配置していなかったことが判明、会社は大学に不正に受け取った約680万円を返還。
- ◆ 10.30 ○大は、学生が新型インフルエンザに集団感染したため大学祭を中止すると発表。

<入試等ミス>

- ◆ 9.1 ○大の大学院入試で選択肢に正解がない出題ミス。試験終了後、入試担当委員が気付く。
- ◆ 9.5 ○大の大学院入試で数式の表記を誤る出題ミス。出題教員が採点中に気付く。
- ◆ 9.15 ○大の大学院入試問題が漏洩。作成担当者が学生も閲覧可能な共有パソコンに問題データを保存したまま放置。
- ◆ 9.28 ○大の編入学試験で正解の選択肢が二つある出題ミス。採点中に教員が気付く。
- ◆ 10.26 ○大の大学院入試で数式の表記を誤る出題ミス。出題者が採点中に発見。



<事故・賠償・事件>

- ◆ 9. 3 ○大の学生が沢登りで滝壺に転落し水死。同大を中心としたボランティア仲間と子どもの野外活動の下見を行っていた。
- ◆ 10.22 ○大の女子学生のマンションから火災。発見された焼死体が同人と確認され、殺害されたものと判明。
- ◆ 10.24 ○大の文化祭の模擬店でカセットコンロのガスボンベが破裂、通行人が軽いやけどを負う。

<ハラスメント>

- ◆ 9.16 ○大は、学生と不適切な関係があった教員に対する懲戒手続きの審議中に、当該教員が事実を認め退職金受給権を放棄して退職したと発表。
- ◆ 10.15 ○大は、複数の学生に対しセクハラやパワー・ハラスメントをしたとして教授を諭旨解雇処分と発表。本人は大半の事実を認めていない。
- ◆ 10.22 ○大は、女子学生に対するセクハラ行為で准教授を停職1か月の処分と発表。
- ◆ 10.31 ○大は、女子学生にセクハラとアカハラを繰り返したとして教授を諭旨解雇処分と発表。

<情報漏えい>

- ◆ 9. 7 ○大は、准教授室から学生の成績データが保存されたポータブルハードディスクが盗まれたと発表。
- ◆ 10.21 ○大は、学生が提出したレポートデータを保存したUSBメモリが郵送途中に所在不明になっていると発表。メモリを入れた封筒が破損しなくなったと思われる。

<教職員の不祥事>

- ◆ 9. 8 ○研究所の主任研究員が架空発注の手口で約1100万円の損害を与えた背任容疑で逮捕される。
- ◆ 9.14 ○大は、准教授ら6人が科研費の一部約478万円をプールする等の不適切な処理を行ったと発表。
- ◆ 10. 8 ○大は、複数の論文に他研究者論文からの多数の盗用があったとして教授を懲戒解雇にしたと発表。
- ◆ 10.28 ○大と△大の助教授2人が約2千万円にのぼる補助金を不正に経理し会計検査院から指摘されていたことが報道。△大助教授は既に退職。

<学生の不祥事>

- ◆ 9.28 ○大レスリング部の学生が強姦致傷容疑で逮捕。10.14、同大学は同部を無期限活動停止の処分。
- ◆ 10.23 ○大の留学生在が長期に留資格を得るために偽装結婚をしたとして逮捕。
- ◆ 10.23 ○大の学生が覚せい剤取締法違反(所持)の疑いで逮捕されていたことが報道。
- ◆ 10.29 ○大は、ソーシャルネットワーキングサービスにホームレスを襲撃する動画を投稿した学生を厳重注意。動画は友人とのパフォーマンスだったが一般ユーザー閲覧可能となりネット掲示板が炎上。

※ 10月号は創刊1周年記念特集号のため本コーナーはお休みしたため、2か月分の掲載となります。

保険ご担当者コーナー

- 11月20日、国大協事務局から「平成22年度国立大学法人総合損害保険の基本方針について」が各機関に配信されております。
同基本方針を受け、現在、次年度商品内容の検討が行われています。12月中には商品内容と引受保険会社が決定される予定です。
- 平成22年度の募集は1月下旬開始を予定しております。
- 1月下旬から2月上旬、弊社主催によるブロック説明会の開催を検討しております。

配信について

本誌は、各国立大学・大学共同利用機関の国大協保険ご担当者、国大協連絡登録先、ご登録いただいた方にメールで配信させていただきます。 (無料) 配信登録、解除は弊社ホームページからお願いします。⇒ <http://www.janu-s.co.jp/>

情報提供のお願い

各大学等でのリスクマネジメントに関する取組み、事故・事件への対応のご経験、ご感想、ご要望等をお寄せください。
⇒ info@janu-s.co.jp

バックナンバー

- 09. 10月 ◆大学のリスクマネジメント
 - 09. 9月 ◆新型インフルエンザ対策
 - 09. 8月 ◆大学発の名産品に関するリスク
 - 09. 7月 ◆インターンシップ中のリスク対応
 - 09. 6月 ◆留学生の住居と健康等の問題
 - 09. 5月 ◆講習会等での事故と保険
 - 09. 4月 ◆大規模地震等に備える消防計画
- ※弊社ホームページからダウンロードできます。

発行 有限会社 国大協サービス
東京都千代田区神田錦町3-2-3

協力 株式会社インターリスク総研
三井住友海上火災保険株式会社